

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

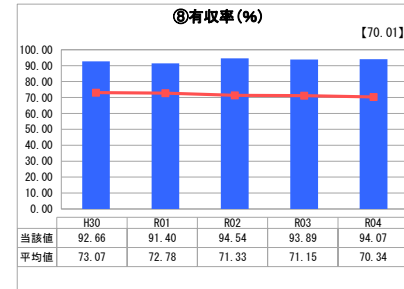
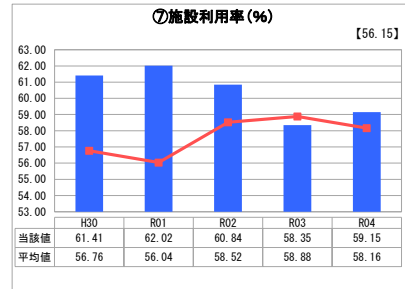
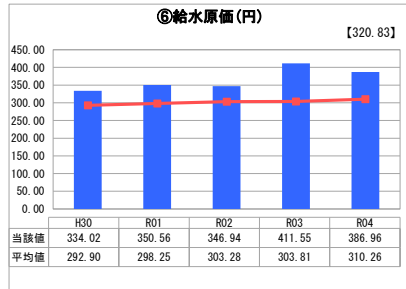
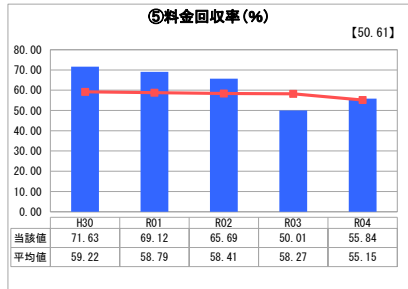
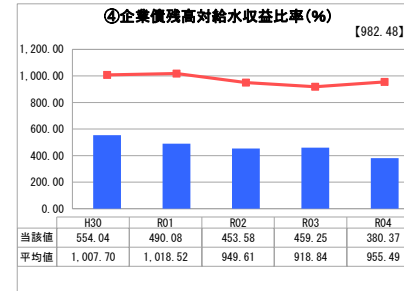
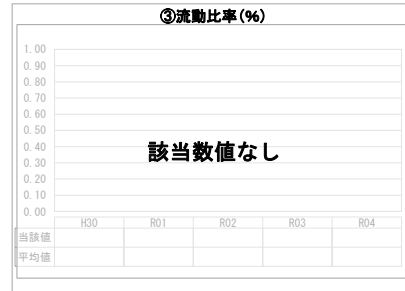
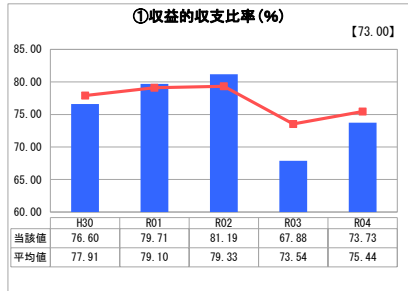
岡山県 久米南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	97.22	4,565	

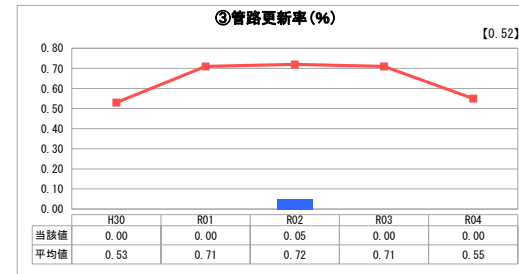
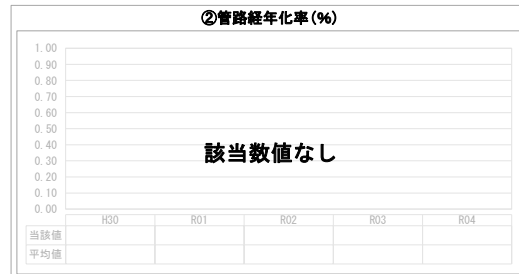
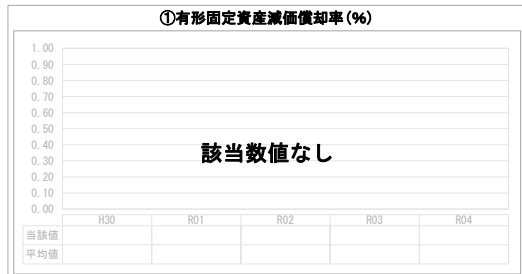
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,498	78.65	57.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,344	78.15	55.59

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率の数値が100%未満であり、単年度の収支が赤字であることを示しています。令和3年度は請求月の見直しによって11か月分の水道料金しか収入出来なかったため（令和3年度のみ）特に率が低かったものの、令和4年度には12か月分収入ができたことにより上昇しました。また、令和3年度に管路の新設による企業債償還の一部が完了したことも影響しています。しかし、総費用が上昇しているため例年と比較すると低下しています。
- 企業債残高対給水収益比率は、企業債残高が増えたことと、給水収益が通常の12か月分に戻ったことにより低下しています。また、令和7年度から公営企業適用債（元金は3年据置）の償還が開始する予定ですが、現在償還中のものが毎年償還済みとなっていくため緩やかに低下していきます。
- 料金回収率は、①で述べたとおり給水収益が増加し、企業債償還の一部が完了したことで令和4年度は上昇し、類似団体に追いつきました。しかし、以前の水準には戻っていないため経営努力が必要です。
- 給水原価は、企業債償還の一部が完了してきて償還元金が減額したことにより低下しています。
- 施設利用率は、年間総配水量が12か月分に戻ったため一日平均配水量が上がり、施設利用率が上がっています。企業団からの受水とともに浄水場を活用し、今後も例年の利用率維持を目指します。
- 有収率は、今後さらに高数値を目指し、漏水調査等に力を入れ無収水量を減らしていきます。

### 2. 老朽化の状況について

管路更新率については、令和3年度から公営企業法適用の準備として固定資産台帳整備に取り組んでいますので、法適用後には台帳から更新の優先順位をつけていきます。また、近年修繕が多くなっているため、給水収益等と企業債の残高を考慮しながら更新を検討し、順次行っていく必要があります。

### 全体総括

安定供給のために企業団からの受水が必要不可欠な地理的条件ですが、受水費の負担は簡易水道事業の経営に大きな影響を与えるため、今後も十分な検討を行っていきます。

また、小規模で過疎地である特性を持ち、厳しい経営となっています。令和6年度には公営企業会計移行予定であり、公営企業化に経営戦略を交えてより具体的な健全経営を目指していきます。